

病院の理念

1. 医療活動を通じ、健やかなまちづくりに貢献
2. 地域連携の積極推進により、利用者にとって最良の医療を実践
3. つねに病院運営の刷新を図り、「愛され、信頼される病院」を実現

岐北厚生病院 広報誌 2009. 11. 1発行

2009 秋号 Vol.42

- 腰椎椎間板ヘルニア
- 第9回 岐北厚生病院祭
- 64列MDCT導入のお知らせ
- 職員紹介
 - 外来診療担当表
 - その他

42号目次

青空



整形外科医長
佐藤 克平

一般の医療に従事していない人でもこの言葉を知らない方は珍しいと思います。ここ最近の傾向では、患者さんにとって、ヘルニアと言えば椎間板ヘルニアのことを意味することが多いようで、「私は以前にヘルニアをやりました。」と言われた際に「どこのヘルニアですか？」と聞き返すと、キョトンとされることがしばしばあります。本来ヘルニア（英語ではHerniaまたはherniation）とはラテン語で「異なる場所」を意味するそうです。医学辞書では「内臓器（多くは腹部内臓）が、先天的に存在するか、または後天的に生じた孔口より体内の異なる部分に脱出する疾患」とあります。つまり、柔らかい臓器であれば、椎間板に限らず脳や胃、腸、心臓、肺、筋肉、血管などでもヘルニアになる可能性があるわけです。にもかかわらずヘルニアといえば椎間板ヘルニアと思われがちなのは、実際ヘルニアの中では椎間板ヘルニアが最も多いため、以前は腰痛疾患に対しレントゲン等で安易にヘルニアと診断された為と考えられます。

腰椎椎間板ヘルニア

さて前置きが長くなりましたが、椎間板とは脊骨と背骨の間にある板状の軟骨のことで、頸椎から腰椎までの間に通常23個あります。外側は線維輪と呼ばれる線維性の丈夫な袋からなり、その中には髄核と呼ばれる、お菓子のグミのようなやわらかい組織が存在しており、私たちが普段使っている座布団やクッションのような構造をしていて、その役割も背骨のスムーズな運動と、脳や脊髄への衝撃を吸収することです。私たちが普段の日常生活や仕事、スポーツを行う際、あるいは事故や怪我などの損傷を受けた際に、椎間板は大切な脳や脊髄を守るため、自ら衝撃を吸収し、そのために少しずつ傷つき、あるいは消耗していつてくれているのです。また椎間板には神経があまりない為、相当傷つかないと痛みを訴えません。血行も極めて少ない為、傷つきすぎても元通りに修復する機能はありません。この点が《椎間板は消耗品である》といわれる所以です。

(次頁へつづく)



椎間板は大変我慢強い組織ですが、長年かけて傷つきすり減っていくため、いよいよ耐えられなくなると、椎間板症と呼ばれる腰痛を主体とする疾患が生じます。これは線維輪がたくなって所々に亀裂を生じた状態で、ぎっくり腰の多くがこれであるといわれています。更に悪化したものが椎間板ヘルニアで、これは線維輪が裂けて中にある髄核が後方に飛び出して神経を圧迫した状態です。そのため、腰痛はさほど感じませんが、腰から離れた下腿や足先に痛みや痺れが生じます。椎間板症はほとんどが自然に軽快し、椎間板ヘルニアも保存的治療（薬やリハビリなどの手術をおこなわない治療）で8割以上の人が軽快し、手術が必要な人は全ヘル

ニア中の1～2%程度です。

元々脊椎に変形や奇形がある人は別にして、椎間板ヘルニアとは、悪いばい菌や腫瘍によって引き起こされた不幸な疾患ではなく、本人の姿勢の悪さや、体の使い方、肥満、運動不足などにより、背骨に長い間過度の負荷が蓄積し、ついには背骨が悲鳴を上げた状態であるといえます。普段は何一つ文句を言わず、黙々と体を支えている背骨ですが、日々少しずつ消耗していることを自覚していただくことが、椎間板ヘルニア予防の第一歩であると思います。



第9回 岐北厚生病院

病院祭



今年で9回目を数える岐北厚生病院病院祭が平成21年8月27日、玄関ホールから外来診療棟を会場として開催されました。会場には入院患者さんとその家族また地域住民の皆様が訪れ、800人を超える人出で賑わいました。昨年までと同様にテーマを《健康の輪、地域と岐北厚生病院》とし、より一層地域住民の身近な医療機関として親しみを持ち、健康増進のきっかけを見つけたいと開催しました。会場では、アロママッサージやメタボチェック、骨粗鬆症の検査である骨密度検査や体脂肪測定、血圧測定、輪投げ風船つりのゲームコーナー、山県消防署員による消防写真撮影、職員が持ち寄った品物を格安で提供するバザーコーナー、橋の風景をテーマにした絵手紙展示コーナーなどどれも大変盛況でした。2時間という短い開催時間にもかかわらず大勢の方々に来院していただき、地域の子供からお年寄りまで皆様の岐北厚生病院に対する関心の高さを感じました。今後ともより一層地域に根ざした身近で安心な医療機関としてご利用いただけるように全職員が努力いたします。最後に病院祭の開催にあたり、地元の自治会をはじめ多くの方々のご協力をいただき開催することができました。末筆ながらこの場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。

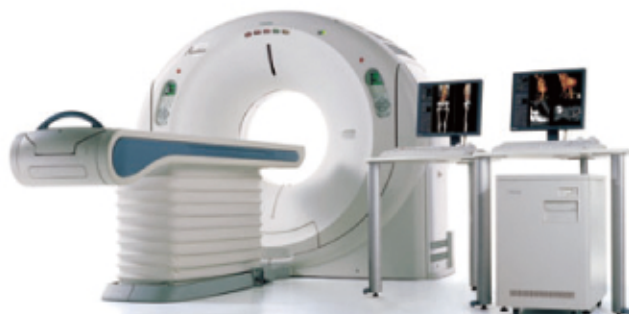




放射線科
主任診療放射線技師
尾関 裕一

9月下旬より当院のCTが16列MDCTから、新たに64列MDCTが導入される事になりました。64列CTは16列CTに比べると、全検査における一回の撮影時間が1/2~1/4以下となり5秒から15秒程度の時間で終了します。患者様の負担は大幅に軽減し、被爆も従来にくらべて少なくなります。64列CTは心臓領域の検査にすぐれ、脳血管領域、全身の大血管領域にも良好な画像を提供することが出来ます。

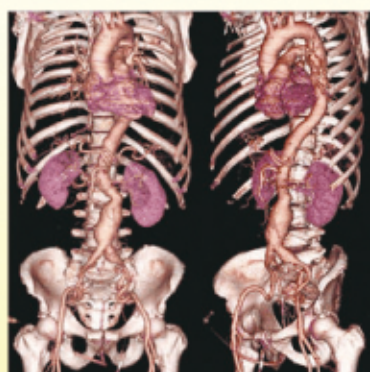
64列MDCT 導入のお知らせ



●循環器領域のメリット

高速スキャン(1回転0.35秒)、心電図同期スキャン、心電図同期再構成を用い高い時間分解能の画像が得られます。拍動する心臓の三次元画像化や冠状動脈の狭窄、石灰化の評価が可能となるため、冠動脈形成術後、バイパス手術後のフォロー等多種多様な検査が可能となります。

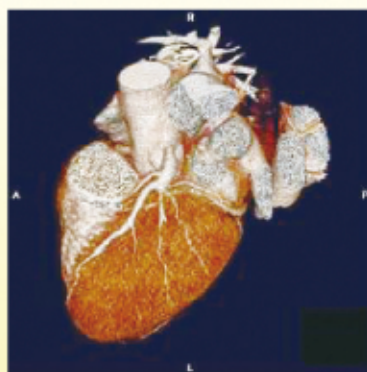
連携の先生方にも病変の早期発見、早期治療のために役立てていただけたらと思います。今後とも引き続きよろしくお願ひします。



大動脈3D



脳血管3D



心臓3D



理学療法士
大野 隆

10月1日よりお世話になります理学療法士の大野です。揖斐厚生病院より転勤してきました。1日でも早く仕事に慣れる様がんばります。よろしくお願ひ致します。

- ①音楽
- ④ヨーグルト
- ⑥A型



放射線技師
樺田 雄

中濃厚生病院より転勤してきました。不慣れなことが多くご迷惑をおかけしますが、一生懸命がんばりますのでよろしくお願ひします。

- ①ドラクエ
- ②仲間由紀恵
- ④カニ
- ⑤テニス
- ⑥AB型



医事課課長
小木曾陽一

10月よりお世話になります医事課の小木曾と申します。久しぶりの病院勤務で、皆様にご迷惑をお掛けすると思いますが、頑張りますのでどうぞ宜しくお願いします。

- ③トラ
- ④お酒
- ⑤スポーツ野球
- ⑥O型

わたしは
こんな人

- ①趣味特技
- ②好きなタレント
- ③自分を動物にたとえること?

- ④好きな食べ物
- ⑤マイブーム
- ⑥血液型



はじめまして

職員紹介